

# ビビッドピンク印刷 データ作成方法

## 手順

- 1: Adobe Illustrator でデータ作成
- 2: 「Pink」レイヤーにデータを作成
- 3: 特色「Pink」にてカラー指定
- 4: オーバープリント指定を行う
- 5: CMYK と掛け合わせについて
- 6: 注意事項



タイトルはピンクに

紫とオレンジも  
発色をよくしたい！

完成イメージ

## 1 Adobe Illustrator でデータ作成

ビビッドピンク印刷は、illustrator の専用テンプレートをご利用の上、ご作成ください。

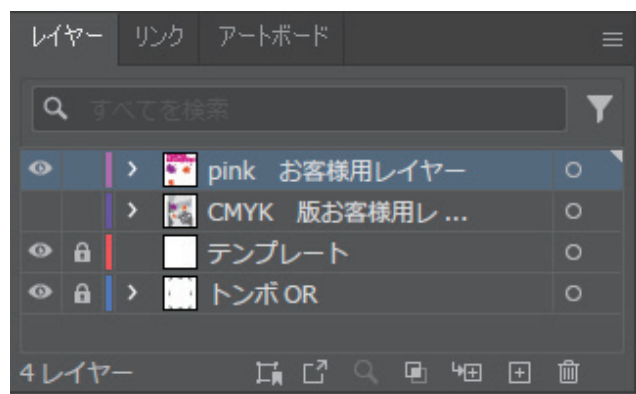
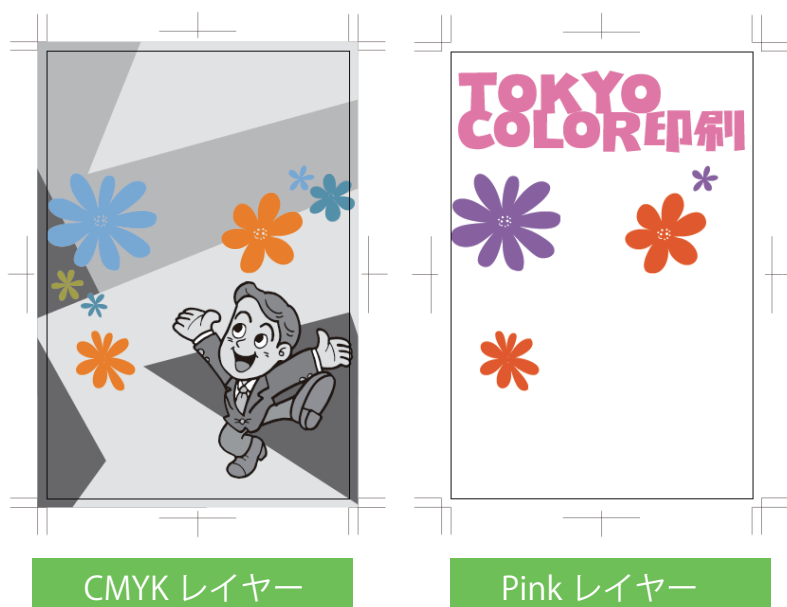
※レイヤー分け・特色指定・オーバープリント設定が必要なため、illustrator 形式のみご対応とさせていただきます。

## 2 Pink と CMYK でレイヤーを分ける

ビビッドピンク印刷を行うオブジェクトは「pink」レイヤーにデザインを行ってください。

紫、オレンジは、ピンクと重ねて印刷する事で発色がよくなります。

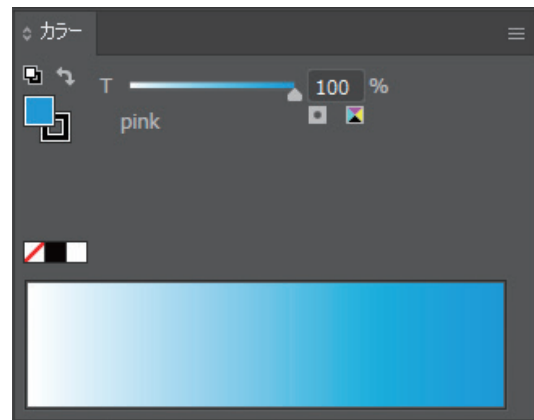
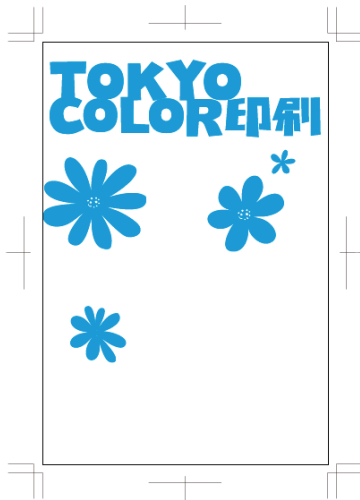
※ピンクを重ねたくない場合は元々の紫とオレンジそのままで大丈夫です。



### 3 特色「Pink」にてカラー指定

ビビッドピンクで印刷したいオブジェクトは特色「pink」で色を指定してください。

※データ上では水色ですが「pink」でカラー指定した箇所にビビッドピンクのインクが印刷されます。



### 4 オーバープリント指定を行う

ウインドウメニューから「属性」を選択し、表示させてください。

属性ウインドウが表示されますので、**オブジェクト選択後**「塗りにオーバープリント」にチェックをいれてください。

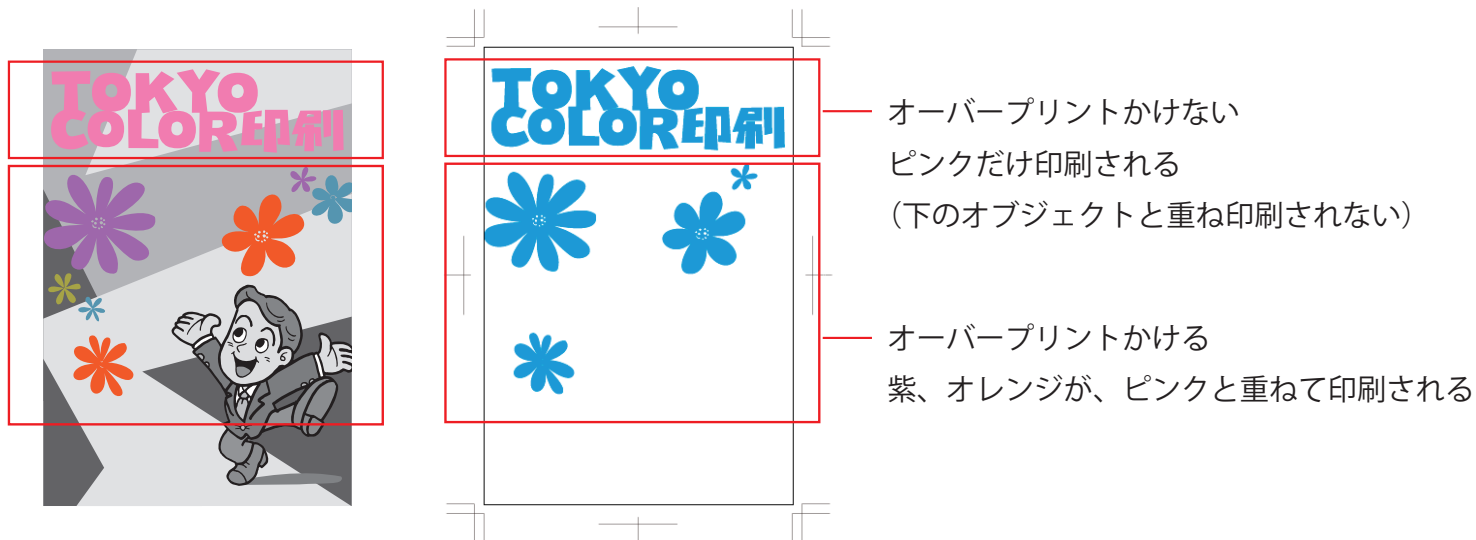
※ピンクだけで印刷したい部分は、オーバープリントはかけない。

この例では、花の部分にだけオーバープリントをかけます。



## 5 CMYK と掛け合わせについて

CMYK にピンクを重ねる事で発色が良くなります。ビビッドピンクだけで印刷も可能です。



完成品



淡い色との組み合わせが効果的です。キンアカ（M100+Y100）は、ピンクを重ねてもあまり変わりません。



### 注意事項

- ピンクレイヤーが上に来ていない場合はデータ NG となります。
- 線にもピンクをお使いの場合「線にオーバープリント」もチェックを入れて下さい。

